

# ふれあい

2021.1  
No.226

発行：ふれあい編集委員会 〒220-0011 横浜市西区高島 2-6-32 善仁会グループ TEL:045(453)6772 [www.zenjinkai-group.jp/zenjinkai](http://www.zenjinkai-group.jp/zenjinkai)



## 「巡回シャントエコー」による 患者さまサポートへの取り組み



善仁会グループからの  
各種情報はどちらからも  
ご確認いただけます。



心のかよう医療・福祉をお客さまへ  
**善仁会グループ**

# 年頭にあたって



明けましておめでとうございます。

新たな年を皆さんとともに迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

善仁会グループは、本年で47年目を迎えます。振り返りますと、医療は確実な進歩を遂げ、透析患者さまを取り巻く環境や生活の質、予後も大きく改善してまいりました。

昨年より続く新型コロナウイルス感染症についても、ワクチン開発の話など明るい兆しがいくらか見受けられるようになりました。一歩ずつ、こちらも着実に前進しているのではないでしょうか。

本年は丑年です。古来より牛は地道な取組みを継続することの大切さを象徴し、また「紐」の字にも含まれることから、人と人を結びつける存在とされてきました。その丑の年は、地道な一歩が大成へつながる芽吹きが兆す年だと言われています。

私たちは、私たちの原点である患者さま、ご利用者さまの「心の満足」の追求を継続し、お一人おひとりとの心の結びつきを大切に、本年も変わることなく心のかよう医療・福祉の実践を心がけてまいる所存でございます。そして、その先に皆さまの笑顔が輝きますよう努め続けてまいります。

安心・安全な医療・福祉を皆さんにご提供できますよう、グループ一同全力を尽くしてまいります。本年も引き続きご指導を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

善仁会グループ  
会長 千葉 哲男



## 「巡回シャントエコー」による 患者さまサポートへの取り組み



善仁会グループでは、巡回シャントエコメンバーがグループ内の透析施設を訪問して、バスキュラーアクセス(シャント)の状態を確認する「巡回シャントエコー」に取り組んでいます。本号では、その取り組みについて紹介させていただきます。



透析患者さま巡回シャントエコー  
サポートセンター  
課長 臨床工学技士 鈴木 安信

透析患者さまの高齢化、長期透析患者さまの増加に伴いまして、穿刺の困難な方やシャント合併症も増加してきています。また、ADL(日常生活動作)の低下などで、検査のために透析施設以外の医療機関に通院することが難しい患者さまが多くなってきています。そこで、各施設からの依頼(医師の指示)に基づいて、シャントエコー実施者がグループ透析施設に訪問して、シャントエコーを行う「巡回シャントエコー」を2013年10月より開始しました。

当初は一人で始めた巡回シャントエコーでしたが、現在では9名の巡回シャントエコメンバー(常勤3名、透析室との兼務6名)となり、活動しております。2020年は10月末までで、5,516件(4,223名)、2013年10月~2020年10月末までに25,284件(9,733名)と多くの患者さまに対して巡回によるシャントエコー

を行っております(図1)。

それではシャントエコーでは何を見ているのかといいますと、シャントに流れている血流量や血液の流れにくさなど、血流の状態やシャントの能力を評価する“機能評価”(写真1)と血管走行や狭窄の程度などを評価する“形態評価”(写真2)を行っております。

シャントエコーは透析室のベッドサイドで行うことができ、所要時間はおよそ15分前後です。検査結果を総合的に評価して、結果を主治医、透析室スタッフに伝えて情報共有しております。2019年は5,701件のシャントエコーを行っており、607件(10.6%)が新規受診や受診予定日より早める必要があると評価しました。そして評価した結果に基づき、主治医の判断で病院を受診していただいております。受診した結果、治療が必要となり、バスキュラーアクセスを救済できた事例も数



多くございます。私たちメンバーもホッとするひと時です。

シャントの5年開存率が60～70%と言われておりますが、上手く使えば10年以上も使用することが可能になります。シャントの管理とケアは「ふれあい219号（2019年7月発行）」に、横浜第一病院バスキュラーアクセスセンター篠川センター長による解説がございますのでそちらをご一読していただければと思います。

シャントは患者さまが透析を続けていく上でとても大切なものです。シャントの状態は日々変化しますので、変化に敏感になることが長持ちさせる秘訣だと思います。透析室スタッフと巡回シャントエコーによる管理を今後も進めて参ります。この記事を読んでいただき、「シャントエコーを一度もしたことがない」「久しぶりにシャントエコー検査を受けたい」などのご要望がございましたら、遠慮なく施設スタッフにご相談ください。

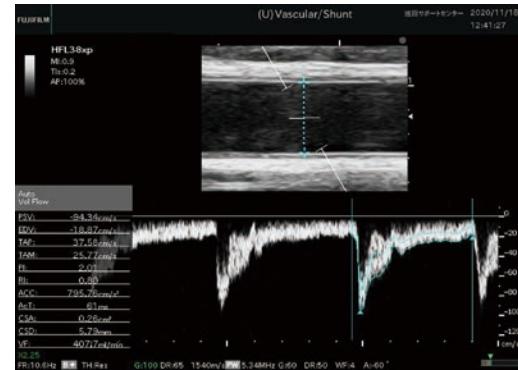


写真1 機能評価

波形と血管の太さから、シャント血流量や血液の流れにくさを算出して、評価します



写真2 形態評価

狭窄部は血流が速いため、色を付けることで狭窄の見落としを防ぐことができます

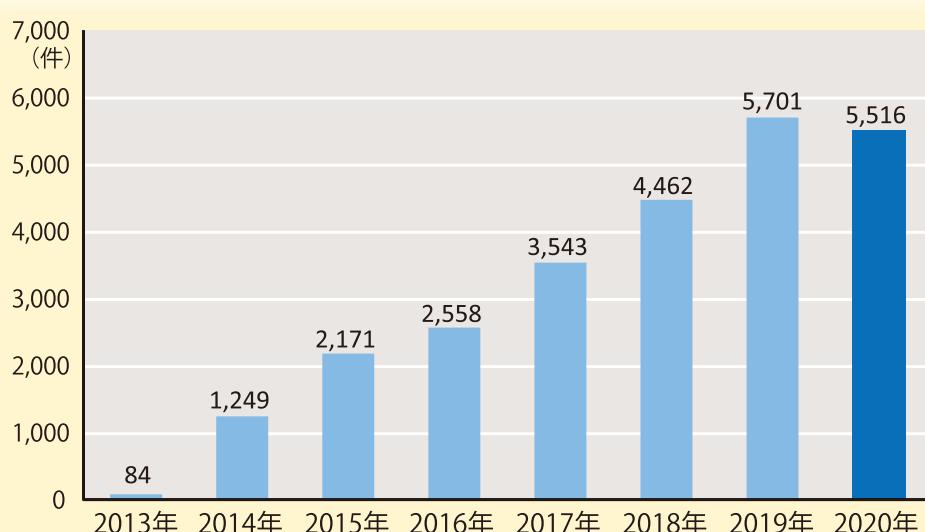


図1 巡回シャントエコー実施件数（2020年は10月までの件数）





医師の視点から

## ～巡回シャントエコーへの取り組み～



血液透析を行っている患者さまにとって、その治療を維持していく上でバスキュラーアクセス(内シャント)の管理は非常に大切です。そのため、当クリニックでも、毎月各クール1回ずつ巡回シャントエコー検査を行っています。当院にご通院希望の患者さまが見学にいらした際には、患者さまご自身、そしてご家族にもシャントを見て、触って、聴診器でシャント音を確認していただき、その大きさをお話しています。

ご転入後に透析治療の前後でスタッフがシャントの状態を確認するのはもちろんですが、それだけではわからない狭窄等の血管病変に対し、ご転入後なるべく早い時期に巡回シャントエコー検査を行い、シャントの状態を評

価し、早期の発見・治療につなげています。

狭窄を認めるものの、まだ治療の必要がない場合は定期的な巡回シャントエコー検査にて病変の経過観察を行い、治療が必要な病変が見つかった場合は、横浜第一病院のバスキュラーアクセスセンター(以下、VAC)などで治療を行ってもらっています。

現在、各クール毎月1回の巡回シャントエコーが定例となっているため、患者さまは検査スタッフを「シャントの先生」と慕ってくださり、信頼を寄せてくださっています。今後も巡回シャントエコー検査を継続し、VACと連携しながら患者さまの大切なバスキュラーアクセスを管理していきたいと思います。

看護師の視点から

## 巡回シャントエコーのメリット、推奨点について



秋葉原いずみクリニック 看護部  
係長 看護師 濵田 由香

超音波(エコー)検査は、血管そのものを見ることができるとともに、シャント血流を測定することもできるとても便利な検査です。この利点を活かし次の場面でエコーが活用されています。

### 【シャントトラブルの精査】

シャントは、見る・触る・聴くこと、患者さまの自覚症状から、受診の必要性を判断しています。エコーを用いることで血管の状態が詳しくわかり、治療の必要性をより正確に判断することができます。

### 【同一部位穿刺回避】

同一部位穿刺を続けると、閉塞や瘤(りゅう:コブのこと)などができる原因となります。シャントを長持ちさせるためにも、透析ごとに穿刺部

位の変更を勧めています。その際にシャントエコーの結果を見ながら患者さまへ説明を行い、より安全で確実な穿刺場所を決めるために用いています。

### 【穿刺の補助】

穿刺ミスをした場合、原因がわかれれば次回からのミスを防ぐこともできます。特に穿刺困難な患者さまの場合、エコーで血管をチェックし、血管の走行、幅、内腔の状態、皮膚からの深さが測定でき、血管を可視化することができます。その血管情報をもとにより安全に穿刺を行うことができます。また、スタッフへの穿刺指導の場面では、個人の感覚的な指導とならず、共通ツールとして用いることで穿刺技術向上に役立てています。

# 巡回シャントエコーの目的と 善仁会グループの取り組み

横浜第一病院  
バスキュラーアクセスセンター  
センター長 笹川 成

理学的所見と言う言葉を耳にされたことがあるでしょうか? 医師や看護師、臨床工学技士は皆さまのバスキュラーアクセスを視診(見る)、聴診(音を聞く)、触診(触る)ことで血管やカテーテルの状態を確認し、もし異常があればバスキュラーアクセスセンター(以下、VAC)に紹介していただいている。しかしながら皮膚の上からこれらの状態を評価するのは十分な経験を積んでいないとなかなか困難です。

表在超音波検査とは、小さな機械(プローブ)で皮膚に7~12MHzの超音波を当て、反射した超音波を画像に変換したり、血流に色をつけて表現したり、血流量や血管の流れにくさを数値で表してくれます。超音波検査で評価できるものは大きく分けて「形態」と「機能」になります。

**「形態」とは** シヤント(内シヤント、人工血管)や上腕動脈表在化では、穿刺する血管の太さ、走行、深さ、壁の厚さ、血管の内腔の状態、枝、太い神経を確認できます(残念ながら鎖骨の下までしか追うことができません)。カフ型カテーテルでは、出口部から血管に入るところまで観察することができます。

**「機能」とは** シヤントが血液透析に十分使用できる血液が流れているか、また流れに



巡回シャントエコースタッフは、グループ内施設を日々巡回しています

くさを数値に表し、閉塞の予測を行うことができます。

巡回シャントエコーは2013年より開始し、現在臨床工学技士9名(2名は臨床検査技師の資格を有する)が皆さまのクリニックを巡回しております。そしてバスキュラーアクセスの形態、機能を評価し、クリニックのスタッフに向けたレポートを作成し、穿刺のアドバイスも行っています。昨年一年間(2019年)で5,701件の検査をグループ内のクリニックで行っています。また狭窄、血腫、閉塞等を見つけ、必要があればVACへの紹介も行っています。高齢化等で検査のために病院に向かわれる方が大変な方も、技士が巡回することで血管評価ができます。今後も巡回シャントエコーをより増やすことで穿刺ミスや閉塞を少なくし、快適に透析治療を受けていただくのが善仁会グループの目標です。ご自分の血管の状態や穿刺にご不安がある場合は、クリニックスタッフにお気軽にご相談ください。



## 患者さまご体験談



2016年に透析導入をいたしました。重いものを持たないようにするなど、日常生活でいつもシャントを気遣っていますが、その翌年にシャント肢の膨張やしびれ等の違和感があり、シャントエコーを受けました。過剰血流のため、横浜第一病院にて結紮手術を行いました。シャントエコーは、トラブルの早期発見と早期治療につながっているように思います。また、希望を出しておくと通院しているクリニックにて巡回検査していただけるので大

### 横浜東口腎クリニック 匿名希望さま

変助かっています。その後、数回シャント手術を行いましたが、痛みなどで大変辛い思いもいたしました。術後は3ヶ月～6ヶ月ごとに横浜第一病院で信頼する医師に診ていただいております。

巡回で来られる技士の方々も、いつも気さくにお話をしてくださいり、説明も詳しくしてくださるので助かっています。血管について、きっちりと詳細な説明があるほど、患者としては安心いたします。



## 患者さまご体験談



### ひがし青梅腎クリニック 原 憲子さま

いることでトラブルを予防できているにも感じています。

巡回で来られる技士の方もとても優しい方です。血管が深く細い私への穿刺は難しいようで、導入当初は穿刺部によく青アザができていました。それを見て、「痛かったね、ごめんね」と謝ってくださいり、1～2度その方に穿刺していただきました。以後アザができるないように工夫や周囲への指導をしてくださったその思いやりを嬉しく覚えております。



あけましておめでとうございます



## 第42回 善仁会研究報告会

「第42回 善仁会研究報告会」を、11月22日(日)、そごう横浜・新都市ホールにて開催いたしました。例年、会場には700名超の聴講者が集いますが、今回は社会情勢を鑑みて会場での聴講を取り止め、オンライン会議ツールである「ZOOM」を利用し、会場から全プログラムをオンライン配信いたしました。

埼玉医科大学 腎臓内科 岡田浩一教授による特別講演(演題:高齢保存期CKD患者の至適医療を考える~腎代替療法選択を含めて~)をはじめ、善仁



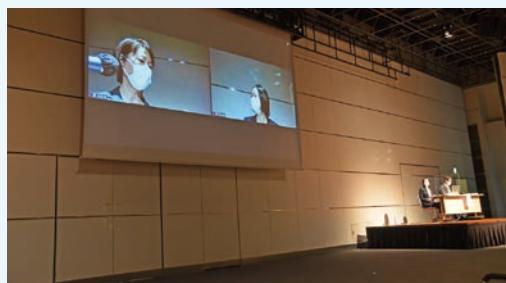
埼玉医科大学 腎臓内科  
岡田浩一教授



大会長 有村 義宏  
(吉祥寺あさひ病院 院長)

会グループの腎部門・健診部門、老人医療福祉部門のスタッフから、合計20演題が発表されました。

研究報告会は、グループ全体の各部門、そして職種間の垣根を越えて各施設・各職種の課題などについて深く知ることができますとともに、日頃の研究の成果や観点を発表することができる貴重な機会です。グループ内各部門の様々な職種が情報共有を行い、そしてグループ全体の医療をより深いレベルで共有し、そして高めていく意味でも、非常に意義のある会です。各演題ごとの、発表者と座長の活発な質疑の模様なども聴講者に向けて配信・共有されていました。



質疑の模様。「ZOOM」を利用して、会場からグループ職員に向けて全プログラムのオンライン配信を行いました

### 【お写真】 【透析川柳】 募集!

「ふれあい」では皆さまからのお写真のご投稿、またサラリーマン川柳ならぬ「透析川柳」のご投稿をお待ちしています。ふるってご応募ください!

- 投稿送付先 : 〒220-0011 横浜市西区高島2-6-32 6階 善仁会グループ本部 広報室あて
- ※または各施設スタッフに「ふれあい投稿」としてお渡しください
- ※ご投稿いただいた作品は返却いたしません。ご了承ください



初明かり 照らす微笑む ゆきだるま (今岡)

## 吉祥寺あさひ病院バスキュラーアクセスセンター

2015年10月より、吉祥寺あさひ病院院内に、バスキュラーアクセスに専門的かつ総合的に対応するセンターを開設しております。

吉祥寺あさひ病院バスキュラーアクセスセンターは長期に安定したバスキュラーアクセスの作成・維持を使命として、充実した設備と医療技術のもと、透析患者さまのバスキュラーアクセスの迅速な診断・治療・維持に取り組んでまいります。



吉祥寺駅北口から徒歩3分です



センター長  
野口 智永

**診療時間** 9:00~16:00

**休診日** 水曜・日曜

**予約制**

バスキュラーアクセス外来の診療は予約制となっております。ご来院前にお電話でお問い合わせください。(緊急を要する場合は別途ご相談ください。)

	2018年度	2019年度
シャント作製術(初回)	26	40
シャント作製術(再建)	41	56
人工血管移植術	62	86
動脈表在化術	11	15
PTA	717	850
その他(瘤切除・血栓除去等)	76	102
<b>4~3月症例実績</b>	<b>933</b>	<b>1,149</b>

受付担当  
バスキュラーアクセス予約係

**0422-22-1120 FAX 0422-22-1080**

神奈川県・横浜第一病院でのバスキュラーアクセスのご相談については、

【**045-453-6709 / FAX 045-453-6701**】にて承っております。